

ハイチにおける国際平和協力業務

Haiti

24

〈ハイチ共和国〉

面積：2.8万km²(九州と四国の中間程度の面積)

人口：988万人(2008年)

首都：ポルトープランス

民族：アフリカ系(約9割)、その他混血

言語：フランス語、クレオール語(共に公用語)

宗教：キリスト教、ブドゥー教他

ハイチにおける国内政治情勢の不安定化、及び治安情勢の悪化を受け、国連は1990年代より国連PKOミッションを通じた活動を展開してきており、平成16年(2004年)には、ハイチの安全かつ安定的な環境の確保を主な任務とする国際連合ハイチ安定化ミッション(MINUSTAH)が設立されました。

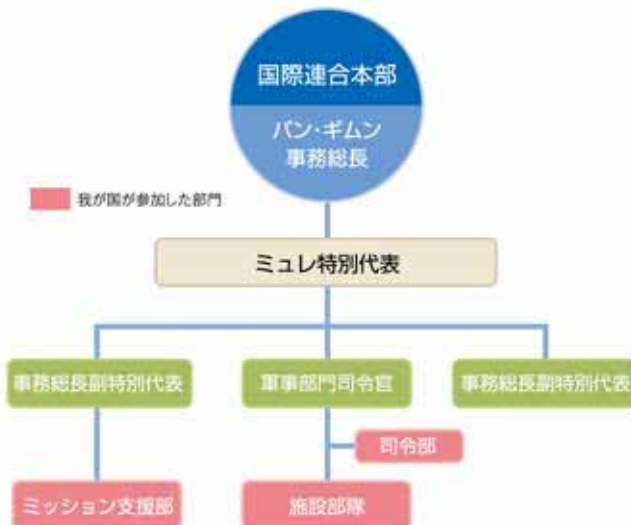
平成22年(2010年)1月12日(日本時間1月13日)、首都ポルトープランス近郊で大地震が発生したため、ハイチは大きな被害を受けました。また、MINUSTAH自身も事務総長特別代表が犠牲となるなど、大きな被害を受けました。国連安保理は、地震被害による事態の深刻さと緊急の対応の必要性から、緊急の復旧、復興及び安定化を支援するためにMINUSTAHの要員を増員する決議を採択しました。

我が国は、国連から加盟国に対する要員派遣の要請に応え、同年2月から、MINUSTAHに司令部要員及び復旧作業を行う自衛隊施設部隊を派遣しています。

■ 我が国要員配置図



■ 国連ハイチ安定化ミッション(MINUSTAH)の概要



地震で倒壊した建物

司令部要員

MINUSTAH司令部に勤務する自衛官2名は、MINUSTAHが実施する施設、輸送関連業務に関する企画及び調整業務を行っています。

1名は事務総長副特別代表下のミッション支援部にて、MINUSTAHが実施する復旧活動に係る企画や調整などの業務を行っています。もう1名は軍事部門司令部において、MINUSTAHの輸送に係る企画や調整などの業務を行っています。

平成22年9月から、第2次要員が現地で活動しています。



執務中の様子

施設部隊

最大時350名からなる施設部隊は、首都ポルトープランスに所在する宿営地を拠点とし、MINUSTAHの調整の下、がれきの除去、整地、道路補修、軽易な施設建設などの活動を行っています。

これまでに、MINUSTAHの活動に必要な敷地の造成や美術館、病院のがれき除去、ポルトープランス市内やドミニカ共和国との国境付近の道路の補修、ハイチ政府庁舎の解体やがれき除去、避難民キャンプの整備、国連施設の耐震診断などの業務を行っています。

平成22年8月から、第3次要員が現地で活動しています。

道路の補修作業を行う我が国要員



避難民キャンプの整備作業を行う我が国要員



施設部隊(集合写真)